

医療法人 彰和会

北海道消化器科病院 広報誌



し ょ う わ つ う し ん

Show-a 通信

2013.12
第12号

北海道消化器科病院は消化器病分野の最先端治療で地域医療に貢献しています。

医療法人彰和会の「彰和（Showa）」と明らかにするという意味の「Show」を合わせて、「Show-a通信」としました。
私たちの仕事をお知らせすることで、消化器科領域の最新医療をお伝えします。

がん診療連携指定病院の 指定を受けた私たちの役割



がん診療連携指定病院の 指定を受けた私たちの役割



当院は、北海道知事より2013年4月1日付で「がん診療連携指定病院」の指定を受けました。「がん診療連携指定病院」とは、北海道が「がん診療の中核的な役割を担う」と認めた病院です。私たちはこれからも、日本人に多く発生する消化器科系がんの長年にわたる診療実績を生かし、手術及び化学療法、放射線療法を効果的に組み合わせた質の高い治療を提供していきます。



北海道のがん診療体制

北海道のどの地域に住んでいても、レベルの高いがん医療サービスを受けることができるように、2013年度から新たな「北海道がん対策推進計画」がスタートしました。

専門的ながん医療を提供でき、がん患者に対する相談支援および情報提供機能を十分に備えているとして、厚生労働大臣が指定した病院。地域の医療機関との連携協力体制を構築しながら、質の高いがん診療に取り組みます。



北海道がん診療連携指定病院指定証

がん医療の水準向上に取り組みるとして、北海道知事が指定した病院。がん診療連携拠点病院と連携しながら、がん診療を行います。

「がんの疑いがある患者さんを診療する場合」「患者さんがセカンドオピニオンを求めるとき」「患者さんが医療相談を求めるとき」「患者さんに緩和医療が必要なとき」などに、がん診療連携拠点病院や北海道がん診療連携指定病院と連携し、がん診療を行います。

がん診療連携拠点病院

北海道がんセンター（拠点病院の取りまとめ役である都道府県がん診療連携拠点病院を兼ねる）、札幌医科大学付属病院、北海道大学病院など道内21施設

北海道がん診療連携指定病院

北海道消化器科病院、勤医協中央病院、市立小樽病院など14施設

地域の病院・診療所



消化器科系の質の高いがん医療を切れ目なく提供しています

北海道消化器科病院の
診療科

消化器内科 腫瘍内科 内科
消化器外科 外科 肛門外科
放射線科 麻酔科

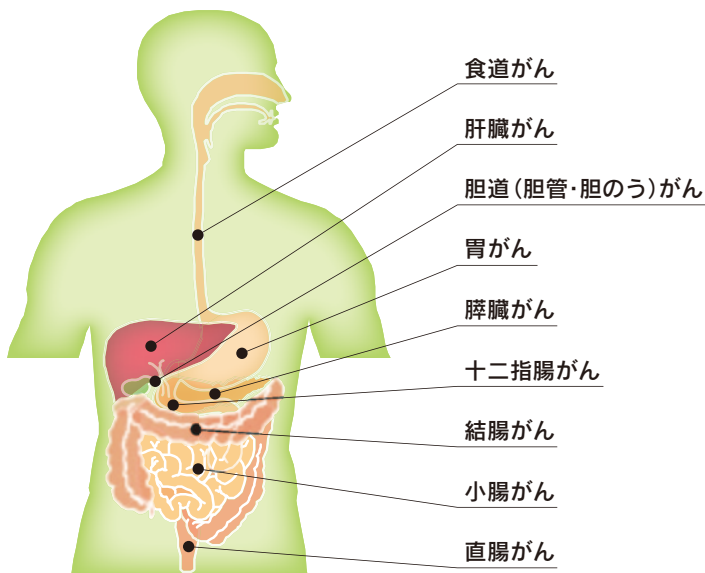


診断 > 治療 > 緩和

**多職種専門職が
チームを組んで**

北海道がん診療連携指定病院の指定を受けた当院の役割は、一質の高いがん医療を地域住民へ提供することともに、がん診療連携拠点病院やかかりつけ医と連携し、がん医療連携の推進およびがん医療水準の向上に取り組むことです。

当院には、消化器科系が
んの手術・化学療法・放射線療法を組み合わせた集学的治療や緩和医療を行う診療科があり、各専門職がチームを組んで診断・治療を行っています。



**当院は消化器系がんにおいて
多くの診療実績があります**

入院・外来でがん治療を受けた患者数

	食道	胃	肝臓	胆のう	膵臓	大腸	計
2011年	57	316	126	82	106	445	1,132
2012年	37	341	108	70	84	371	1,011

臓器別がん登録数

	食道	胃	小腸	結腸	直腸	肝臓	胆道	膵臓	原発不明・その他	計
2011年	25	130	8	179	26	27	16	62	86	559
2012年	12	137	4	160	11	29	18	44	67	482

手術・放射線治療・化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療および緩和ケアを提供しています

医療連携相談室ではがんの相談支援業務やがんに関する情報提供を行っています

がんの診断および治療について地域の医療機関と連携協力体制を整備しています

北海道が実施する各種がん対策事業に協力しています

セカンドオピニオンを受け入れています

医療技術を向上させるため職員全員がつねに学び続けています

6/12 糖尿病マネジメントセミナー
～肝脂肪合併糖尿病患者の治療～

◆特別講演「早期軽症糖尿病治療へのアプローチ
～アログリプチンの肝内脂肪への影響～」

講師：恵愛会柳井病院 糖尿病代謝内分泌内科 部長
土谷昌信先生



7/30 医療安全研修会

◆講演「医療機関における
個人情報保護法への対応について」

講師：第一三共株式会社 学術推進課
(医業経営コンサルタント)
辻本正尚先生



6/20 平成25年度感染対策勉強会
◆テーマ「HIV感染症の基礎知識と感染予防」

講師：北海道大学病院 HIV相談室 看護師
渡辺恵子先生



8/30 北海道医師会認定生涯教育講座
～札幌瞬・胆道癌治療セミナー～

◆特別講演「瞬癌治療—最近の話題」
講師：大津赤十字病院 副院長 土井隆一郎先生



Show-a Topics

消化器がん疾患のセカンドオピニオンを受け付けています

消化器がんの治療は、種類や進行度だけでなく、医師の考え方で大きく異なる場合があります。また、日々進歩する医療技術によっても選択肢が広がります。できるだけ多くの情報を集め、自分に適した治療法を見つけることが大切です。「セカンドオピニオン」を活用し、納得できる治療法を選びましょう。

セカンドオピニオンとは？

主治医（ファーストドクター）とは別の医師（セカンドドクター）から聞く「第2の意見」（意見：オピニオン）のことです。

セカンドオピニオンのメリットには、

- 1 複数の医師の意見を聞くことで、病気に對する理解が深まる
- 2 2人の医師が同一の見解を示した場合、納得して治療を受けることができる
- 3 主治医が示した選択肢以外の治療法を知る可能性があるのであります。

セカンドオピニオンを受けるためには？

主治医に、「ほかの治療法を検討したい」「ほかの医師の意見も聞きたい」ことをお話しください。必要な資料を用意してもらえます。

当院では、

- 1 主治医の紹介状
- 2 病理検査結果
- 3 レントゲン写真
- 4 CT検査の結果

などをお持ちいただいています。詳しくは、当院の医療連携相談室または受付にお問い合わせください。



以下については、セカンドオピニオンの対象にはなりませんので、ご注意ください。

- 現在の主治医に対する不満・苦情
- 転院希望の相談
- 医療過誤および訴訟に関する相談
- 医療費の内容・医療給付に関する相談
- 受診に必要な資料の持参ができない場合

セカンドオピニオンについてのお問い合わせ

北海道消化器科病院 医療連携相談室
TEL：011-784-1811（代表）
受付時間：月曜日～金曜日
9：00～17：00

セカンドオピニオンが終わったら？

セカンドオピニオンの結果を主治医に報告しましょう。ここで大切なのはご本人やご家族が納得できる治療法を選ぶことです。どちらの病院で治療を受けることになっても、ご自身が受けられる治療法を理解し、納得してから治療をスタートさせましょう。



医療法人 彰和会
HGH 北海道消化器科病院

消化器内科、腫瘍内科、内科、消化器外科、外科、肛門外科、
放射線科、麻酔科、病理診断科

- 設立：1988年2月20日
- 住所：札幌市東区本町1条1丁目2番10号
- 電話：011-784-1811 □FAX：011-784-1838
- ホームページ：http://www.hgh.or.jp/
- 病床数：211床